



川崎大師ロータリークラブ 週報

例会日:毎週水曜日 PM12:30~

例会場:大本山川崎大師平間寺金剛閣

事務局:〒210-0812 神奈川県川崎市川崎区東門前1-15-10 カーサ石井1F

Tel.044-277-7569 Fax.044-288-8550

URL <http://www.kawasakidaishi-rc.com/>

E-mail:daisi-rc@eagle.ocn.ne.jp

会長 横山 俊夫
 副会長 岩井 清久
 幹事 小矢野 清
 SAA 清水 宏明

第1929回 (本年度 第17回) 例会 平成24年10月31日 一晴れ一

- 司 会 清水 宏明 SAA
- 点 鐘 横山 俊夫 会長
- 斉 唱 「奉仕の理想」
ソングリーダー 須山 文夫 会員

本日の卓話者のご紹介 横山 俊夫 会長
 川崎市消防局 川崎消防署長 山口 高広 様

来訪ロータリアンのご紹介 飯塚 元明 親睦委員長
 川崎RC 大田垣 耕造 様
 川崎マリーンRC 福嶋 安行 様
 川崎北RC 大塚 正一 様
 川崎北RC 横山 芳春 様

会長報告 横山 俊夫 会長
 ・川崎中RC創立40周年記念式典出席し、その御礼状が届いています。
 ・露木ガバナーより公式訪問の際の御礼状が届いています。
 ・川崎市民祭り実行委員会から協賛金についての御礼状が届いています。
 ・地区に出向されている委員方へお願いです。例会を使って委員会報告をお願いします。
 ・地区委員会より出向依頼が来ている方がいらっしゃいましたらクラブに連絡をください。

幹事報告 矢野 清久 幹事
 ・例会変更のお知らせです。
 11月第1例会(3クラブ夜間合同例会) 11月5日(月)
 川崎日航ホテル12F 18:30点鐘
 第2例会(移動例会)
 11月10日(土)(地区大会) 12:00受付
 ・第1グループ例会案内を回覧します。
 ・例会終了後 川崎大師アスリーターズの皆さん11月5日の稽古がありますので、お残りください。

出席報告 石渡 勝朗 委員長

	会員数	対象者	出席	欠席	出席率
1929回	55	47	32	15	68.08%
1927回	55	44	30	14	68.18%
前々回の修正	メークアップ	2名	修正出席率		72.72%

メークアップ:
 野沢 会員、林 会員

スマイルレポート (ニコニコボックス)

小林 勇次 副会長

川崎RC 大田垣 耕造 様
 本日はお世話になります。

川崎マリーンRC 福嶋 安行 様
 横山会長には日頃日赤奉仕団にてご協力をお願いしております。本日はメークアップに参りました。

川崎北RC 横山 芳春 様 大塚 正一 様
 例会日が同じで、なかなかお伺いできませんが地区でお世話になっている方々に挨拶に伺いました。

中村 眞治 会員

- ①昨日の指名委員会出席の皆様お疲れ様でした。
- ②野球部遠征に行つて参ります。ご支援有難うございます。

宮山 光男 様

- ①10月29日比叡山延暦寺において、天台座主猊下より、住職勤続30年の表彰式に行つて参りました。
- ②昨日は、横山会長、嶋崎さん有難うございました。

鈴木 昇二 会員

山口様、本日はお忙しいところ、有難うございます。卓話宜しくお願い致します。

水口 衛 会員

- ①山口様、卓話宜しく申し上げます。
- ②11/2より米子へ遠征してまいります。

石川 庸 会員

元会員の赤木俊彦さんが亡くなりました。密葬ですが、11月2日の午前11時より12時まではお別れができるそうです。会場は清水会員のこすもす会館です。ご冥福を祈ります。

武者 恵吾 会員

皆さん、ご無沙汰ばかりして申し訳ございません。

須山 文夫 会員

- ①川崎北RC大塚様・横山様ご来訪有難うございます。
- ②昨日、地区ライラ開講式を迎えました。ローターアクトの相沢君・山口君をご推薦頂き有難うございました。ライラへのご協力引き続きお願いします。

横山 俊夫会長

山口高広様、本日は宜しくお願ひします。

矢野 清久会員

- ①山口様、本日の卓話宜しくお願ひ致します。
②小林副会長、先日は楽しい会を有難うございました。

小林 勇次会員

- ①妻の誕生日の花有難うございました。
②山口様、卓話宜しくお願ひ致します。

本日のニコニコのテーマ

山口高広様 本日は卓話宜しくお願ひ致します。

長島 亨会員、牛山 裕子会員、炭谷 博功会員
渡辺富士夫会員、石渡 勝朗会員、秦 琢二会員
増田 昌美会員、沼田 直輝会員、竹中 裕彦会員
谷澤 幹男会員、伊藤 佳子会員、岩井 茂次会員
須藤 宏会員、布川 二三夫会員

合計 34,000円

委員会報告**地区ライラ委員会 須山 文夫会員**

昨日、開講式を行いました。5日間の日程（10月30日・11月12・22・23・24日）現地に行つてまいります。ローターアクトの相沢君・山口君をご推薦頂き有難うございました。今後もご協力をクラブの方でしていただくと思ひます。宜しくお願ひします。

中村 眞治会員**地区GSE委員会報告**

今日お出での川崎北RC洪会長年度、洪さんGSEの委員として、貴クラブではプレゼンまでやらせて頂き有難うございました。11月10日・11日の地区大会に向けてチームメンバーは、滞りなく日程の方をこなしております。

野球同好会

11月2日～鳥取県米子に於いてRC野球全国大会開催皆様から10月17日 27,680円、10月24日 10,000円 合計37,680円ご芳志を頂きました。どうも有難うございました。親睦とクラブのPRの為に頑張つて参ります。

卓話者のご紹介**武者 恵吾会員**

川崎市消防局川崎消防署長
山口 高広様（やまぐち たかひろ）

演題「地震に備えて」**略歴**

昭和53年4月 川崎市消防局採用
平成2～3年 自治省消防局（現：総務省消防局）に出向
19年4月 多摩消防署長
21年4月 中原消防署長
24年4月 川崎消防署長

卓話

川崎市消防局川崎消防署長 山口 高広様

巨大地震に対する備え

講演に先立ち宮城県多賀城市の市民の方々が集めた災害時の資料映像の上映が行われました。

地震発生時、私達は消防署にいました。いろいろな情報が錯そうし、まず携帯電話が使えない。消防署の電話は非常用電話に登録されていますのである程度の情報はつかめませんがそれでもなかなか情報が集められなかった。

中原消防署には特殊な車両がありますので人を集めて現地に行けるように準備を開始した。動員をかけ一人でも多くの職員が現地に行けるように対応しました。犬蔵の訓練所に神奈川県消防隊としてチームを組み、30台位の消防車が現地に向かいました。

地震で建物が壊れたのか、津波で壊れたのかわからない。これからの検討する中で色々と考えているところです。改めて1年半前のこの大きな事故を、また少し冷静な目で見て頂けるともう一度大地震に対する備えをやらなければいけないのではないかと感じていただけたと思います。

この地震は津波災害ですので、川崎市に本当に津波が来るのか一番関心を持っています。

東海・東南海・南海地震などが同時に発生するマグニチュード9クラスの「南海トラフ巨大地震」いわゆる「静岡県沖から四国、九州沖にかけての浅い海溝（トラフ）沿いで発生する地震の中で、想定されるマグニチュード9から9.1クラスのもの」について、本年8月に国から被害予想が出され、最悪の状況で死者32万人超、負傷者62万人超となることが発表され、該当地区に衝撃が走りました。

この数字は東日本大震災の死者・負傷者の17倍という大変大きな被害が予想されました。死者32万にのうち建物倒壊によるものが約8万人、津波によるものが23万人、急傾斜地の崩壊に伴うものが600人、地震による火災によるものが1万人と予測されました。そのうち、津波については、迅速な避難により8割以上が削減できるとして、避難施設の確保、適切な避難経路の確保、さらには、迅速な情報提供がもたらされております。

神奈川県内はどうかと言いますと、この南海トラフ巨大地震で三浦半島西部沿岸を中心に最大10メートルの津波が押し寄せ、津波で最大約2900人の死者が発生すると推定しており、本年3月に神奈川県がまとめた1605年の慶長地震と同型地震が発生した場合、鎌倉市で津波が最大で14.5メートルに達すると予測され、津波で6310人が死亡すると報告されております。

南海トラフ巨大地震の場合、神奈川県より震源地が遠いことから、津波到達時間も最短で30分程度はかかると予測されていることから、迅速な避難により被害を最

小限にとどめることは可能であると考えられます。しかし、慶長型の場合は、津波到達時間に余裕はないので、日ごろから避難施設の整備、安全な避難経路の確保、近隣の高層ビルとの協定などの構築が急がれております。さて、最近津波に関しての基本モジュールとして「慶長地震」があげられるが、慶長地震とはいったいどんな地震で、どの程度の被害があったのだろうか検証してみたいと思います。

慶長地震は、東海地震など国が最も警戒している巨大地震の震源域がある「南海トラフ」で約400年前の1605年に発生した地震で、関東から四国の広い範囲に津波の被害を与えたと報告されております。津波は、犬吠埼から九州に至る太平洋岸に押し寄せ、八丈島から房総半島東岸、伊豆西岸では、1.4kmほど遡上したと言われております。浜名湖近くの橋本では、戸数100戸のうち80戸が流された。渥美郡、伊勢の浦でも大きな被害を受けた。紀伊半島では、「稲村の火」で有名な広川で1700戸中700戸が流失、阿波、土佐から九州の大隅あたりまで津波が襲来したらしい。

1605年2月3日に起こった「慶長大地震」は、地震による揺れや地震動そのものの被害は少なかったものの、津波による溺死者が1万人を超えると推定される地震であったとされています。最近のいろいろな地震に関する発表を見ますと、「大地の歪みが限界にきている」とか「3月11日以降地震が多発しているのに、地震の空白域が存在する」「日本は大地震を誘発する負のサイクルに入った」とか、いずれも近いうちに大地震が発生するということを発表し、国民に地震に対する備えを促しております。

「大地の歪み…」については、GPSを活用した地殻変動のようすから「東日本大地震で東北沖の断層が長大に破壊され、ズレを生じたが、以前より地殻のストレスが増して地殻に歪みが溜まった場所があり、それは、東京直下と房総沖にある」と言うものです。

「地震の空白域…」は、発生した地震の震源地の分析から「茨城沖から房総沖にあるプレートの端に空白域がある」としてあります。「負の連鎖…」は、過去の地震の関連性から「プレート境界型の巨大地震…その後内陸部で直下型地震が頻発…火山の噴火というサイクルが繰り返し替えされる」というものです。具体的には、869年に買観地震(巨大地震)が発生し、前後数年の間に、富士山や阿蘇山が噴火しており、878年には相模・武蔵地震(関東直下型)が発生、887年には仁由地震(東海・東南海・南海連動地震)が発生している。

また、1605年には慶長地震(東海・東南海・南海連動地震M7.9)が発生しており、この地震が現在の津波の考え方のモジュールになっています。その後、1707年(102年後)宝永地震(東海・東南海・南海連動地震M8.6死者5038人)が発生しており、直後に富士山が噴火(宝永噴火)しています。1854年(147年後)には安政東海地震(M8.4、死者2658人)、1944年(90年後)には東南海地震(M7.9、死者1251人)、1946年(92年後)南海地震(M8.0、



死者1330人)が発生しています。今年、2013年ということ、東海地震については、159年発生していないこととなり、あらゆるデータから予想して、関東地方に首都直下型地震が発生し、東海地震が発生するということ予測しているものです。ただ、東海地震は、唯直前予知(地震の前兆をとらえる)の可能性があり、予知された場合には、事前避難、交通規制等の対策が講じられることとなっています。

また、9月18日に川崎市地震被害想定調査の中間報告がなされ、「川崎市直下の地震」(震度)市内の広範囲で震度6強が想定され、その他の地域も震度6弱となる。幸区、高津区の一部の地点で震度7となる。(被害)建物倒壊による死者(午前5時)は570人(前回調査は850人)

「相模トラフ沿いの地震(元禄型関東地震)」(震度)市内のほぼ全域が震度6弱となり、宮前区を中心に震度6強の地域がでる。(被害)建物倒壊による死者(18時)は軽減し190人。
※地震が起きたらまず、何から何をどのようにすればよいか考えよう

(1) 命を守る時間帯

- ・揺れているときはまず自分の命を守る
- ・その場にあった身の安全自宅か外出先か勤務中か

(2) 家と家族を守る時間帯

- ・家族の救助、けがの手当て
- ・家の安全点検(余震に備える)
- ・念入りに火の始末(電気火災の防止)、避難するときはブレーカーを落とす
- ・家族の安否確認

① 災害用伝言ダイヤル

② 災害伝言板(メール)

③ 公衆電話

④ 遠距離の親戚・知人を連絡拠点にする。

※知っていることと使えることは大違い

(3) 近隣を守る時間帯

- ・近隣の救助、消火に率先して協力する。(阪神淡路大地震で閉じ込められた人の95%が自力、家族、友人、隣人に救助されている。)消防2%

(4) 生活を守る時間帯

- ・電気ガスが止まっても4~5日は過ごせる知恵・工夫が大切
- ・何が困るか(灯り、煮炊き)
- ・何で代用できるか、何か身の回りにないだろうか
※食は我が家にあり

地域の防災力の向上を目指して!

- (1) 災害に対応する率先市民になろう
- (2) 自分が暮らす地域にどのような危険があるのか地域のハザード(危険要因)を理解しよう
- (3) 人と人のつながり(絆)を大切にしよう
- (4) 地域の様々な問題に取り組もう
継続は力なり・無理せず、力まず、楽しんで

さらに

- ① 屋内による事故を未然に防ぐ対策を組む。
- ② 家族間の連絡方法を確認する
- ③ 非常用品の準備をする
- ④ 津波に備え、近所の高い建物を確認する

最後に

行政に期待するな、行政はすぐには動かない、発災直後は、地域の連携で災害はいつやってくるかわかりません。今一度身の安全の守り方を覚えておいて頂きたい・最後は地域の輪が仲間を助ける唯一の手法になるという事を覚えておいて頂ければ有り難いと思います。

卓話御礼

横山 俊夫会長

山口署長どうも有り難うございました。本来ですとお時間が足りないくらいの話だと思いますけれど、ご縁がありましたら又何かの機会に来ていただいて、続きのようなものをお願いしたいと思います。今お話があったように昨年3.11実際に市民が撮った映像を見て、背筋がズゥーと寒くなるような気がします。仲間の所が石巻で同じような写真を自分のビルの屋上から撮ったものを送って頂きました。「よく冷静に撮れたね」って言ったのですが「その時は何が何だかわからなかった」と。実際には自分の身は自分で守るという事が一番とご家族の居場所がはっきりしないと非常に不安になって心配で心配でというお話もありました。災害があった時に率先して活動ができる我々市民にならなければいけないのかなあと感じておりますので、先ほどのお話にもありましたように大師の地区のさまざまな状況を理解しながら、もしこの例会場にいた時ということも考えていく必要があるのかなあと感じております。今日は貴重なお話を頂きました。山口署長有難うございました。

日時：平成24年11月10日(土)は移動例会です。
地区大会です。

場所：パシフィコ横浜会議センター

秦 琢二/竹内 祥晴/小泉 知寛



報告

10/30(火) 11:30AM

「大師RC40周年記念式典」への出席のお願いに横山俊夫会長、宮山光男周年委員長がお伺いしてきました。

